

最優秀賞

神奈川県社会福祉協議会会長賞

「思いやりの心でインクルーシブ」

松田町立松田小学校

六年 吉田 心花

私の通う松田小学校の児童会目標は、「思いやりの心を大切にして笑顔の木を育てよう」です。私が考える思いやりとは、相手の立場になって考え、困っている人を自分から助けることだと思います。

私には、知的障害のある兄がいます。兄は自分の思いをうまく伝えることができず、周りの方に迷惑をかけてしまうことがあります。しかし、兄の周りには思いやりのある人がたくさんいます。それはテニスの仲間やテニスのコーチ、小学校の頃の介助員さんです。私達が小さい頃からテニスを教えてくれていたテニスのコーチは、何度もわかりやすくジェスチャーも交えながら説明してくださったり、得点の数えられない兄でも他のみんなと楽しく過ごご

せるようにコミュニケーションをとり不安にならないよう話かけてくれます。兄が小学校の時の介助員の先生は高校生になった今でも兄のことを気にかけてくださり、長期の休みには、兄に合った勉強を教えてくださいたりピアノや楽しいゲームなどを考えてくれたり、安心して楽しく過ごせる場所をつくってくれています。兄はとても楽しむことができます。

みんなありのままの兄を受け入れ一緒にすごしています。兄のことを大切に思いやさしく接してくれているみんなのように私も兄を大切にしていきたいです。そして私も困っている人を助けられる思いやりの心のある人になりたいです。思いやりの心が広がり笑顔があふれる世界になってほしいです。

そうすれば、インクルーシブな社会となりどんな人でも地域で当たり前前に存在し、安心して生活することができると社会が実現すると思います。